

# 国スポ出場アイスホッケー本県成年男子

## 元プロ高見 若手けん引

青森県を中心に31日から開く国民スポーツ大会冬季大会で、アイスホッケーの本県成年男子は2月4日、初戦を迎える。9年ぶりに本大会の切符をつかんだチームの柱は、プロリーグ選手だったFW高見翼人(34)＝四季設備。2021年に引退し、北海道から都城市に移住した当初は競技をするつもりはなかったが、仲間や家族への思いも胸に、本大会での本県初勝利を目標に全力プレーを誓う。

### 北海道から移住

北海道釧路市出身。身長173センチと大柄ではないが、高いスケーティングやハンドリング技術で当たり負けしない。U18、U20やユニバーシアード代表に選ばれた経歴を持つ。

幼い頃にアイスホッケーを始め、強豪の駒大苫小牧高、東洋大に進学。14年、同大学を卒業し、地元釧路のアジアリーグ

チーム、日本製紙クレインズに入団。ウイング、センターを器用にこなして2年目以降は主軸を担った。だが経営合理化で19年で廃部。会社に残るか、廃部に伴って設立された「ひがし北海道クレインズ」に移るかの選択で、新チームを選んだ。しかしコロナ禍もあって、新チームを取り巻く環境は悪化。2年間プレイした後、「ずっと釧路

チーム、新しい仕事に就いたばかりで家族の時間も大切にしたいと、本県代表としてプレイすることに、当初は乗り気ではなかった。しかし、県内にリンクがない厳しい練習環境にありながら真剣に競技に向き合う仲間たちの熱意に触れ、里穂子さんの後押しもあって心変わりした。

「教えるのは好き」とい、一緒にプレイできるのはありがたい。(高見から言われたように)自信を持ってプレイしたい」と信頼を置く。



スティックを使ってアドバイスする高見翼人＝昨年11月、宮崎市中央公民館

## 技術伝授、初勝利へ全力



昨年12月の九州ブロック大会で本県代表としてプレイする高見翼人＝福岡市(本人提供)

本大会1回戦の相手は近畿ブロック1位の京都府。高見と、中学校の後輩で共にリーグを戦ったDF松野佑太(30)＝県スポーツ協会＝を中心に失点を抑え、好機をつかもう。高見は「チームメイトが伸び伸びプレイできるように自分たちが引っ張る」とゲームプランを描いている。(清水正樹)